

2023年3月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2022年11月4日

上場会社名 兼松株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8020 URL <https://www.kanematsu.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮部 佳也
 問合せ先責任者 (役職名) 主計部長 (氏名) 藤井 励起 TEL 03-5440-8111
 四半期報告書提出予定日 2022年11月11日
 配当支払開始予定日 2022年12月6日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	449,459	23.4	22,052	54.8	21,382	57.8	14,915	58.7	12,212	67.6	24,130	145.8
2022年3月期第2四半期	364,138	19.4	14,242	42.8	13,554	41.5	9,399	30.3	7,285	24.0	9,818	35.5

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	146.21	145.90
2022年3月期第2四半期	87.24	87.12

(注) 「営業利益」は、要約四半期連結損益計算書における「営業活動に係る利益」を示しております。

「基本的1株当たり四半期利益」および「希薄化後1株当たり四半期利益」は、「親会社の所有者に帰属する四半期利益」を基に算定しております。

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に帰属する持分	親会社所有者帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	683,878	218,479	175,197	25.6
2022年3月期	634,456	199,282	159,484	25.1

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	30.00	—	35.00	65.00
2023年3月期	—	37.50	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	37.50	75.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正有無：有

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	870,000	13.3	37,000	26.1	35,500	23.4	19,000	18.9	227.48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期2Q	84,500,202株	2022年3月期	84,500,202株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	955,523株	2022年3月期	984,933株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期2Q	83,524,869株	2022年3月期2Q	83,513,025株

※ 四半期決算短信は公認会計士または監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	6
要約四半期連結損益計算書	6
第2四半期連結累計期間	6
要約四半期連結包括利益計算書	7
第2四半期連結累計期間	7
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	8
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報等)	11
(重要な後発事象)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2022年4月1日～9月30日)の世界経済は、先進国がインフレ抑制を最優先する姿勢を鮮明にする中、ロシア・ウクライナ情勢を受けた資源高・商品高や、中国ゼロコロナ政策の影響なども加わり、景気への下振れ圧力が強まりつつあります。

米国では、歴史的な物価上昇に歯止めがかからず、インフレ抑制を政策の最優先事項として急ピッチの金融引き締めを進めていることから、景気後退入りも懸念される一方で、依然として雇用情勢は堅調でサービス消費を中心に過熱感は強く、ロシア・ウクライナ情勢の影響を受けてエネルギー投資も進むなど、強弱材料が交錯する状況です。

欧州では、ロシア・ウクライナ情勢の影響を大きく被り、エネルギー供給不安と価格高騰が家計を直撃する中で、インフレ抑制のための金融引き締めも進められており、スタグフレーションのリスクも懸念されてきました。

中国では、ゼロコロナ政策による都市封鎖の影響により生産活動は停滞し、雇用情勢の悪化により消費も落ち込んだことから、経済は減速基調にあります。

日本経済は、行動制限の緩和により個人消費が回復基調にあり、設備投資需要・IT投資需要なども堅調に推移していますが、資源高・商品高に加えて円安も急速に進み、先行き不透明な状況が続いています。

このような環境のもと、当第2四半期連結累計期間の当社グループの業績は、次のとおりとなりました。

市況上昇を受けた食糧事業や畜産事業、原油価格上昇により石油製品取引高が増加したエネルギー事業を中心にほぼすべての事業において増収となりました。販売台数の伸び悩みなどによる手数料収入の減少が影響したモバイル事業などでは減益となった一方、需要の回復や市況上昇によりエネルギー事業や鋼管事業、畜産事業などを中心に増益となりました。

その結果、収益は、前年同期比853億21百万円(23.4%)増加の4,494億59百万円となり、売上総利益も、前年同期比81億87百万円(15.2%)増加の621億1百万円となりました。営業活動に係る利益は、販売費及び一般管理費は増加しましたが売上総利益などの増加により、前年同期比78億10百万円(54.8%)増加の220億52百万円となりました。また、営業活動に係る利益の増加などにより、税引前四半期利益は、前年同期比78億28百万円(57.8%)増加の213億82百万円となり、親会社の所有者に帰属する四半期利益は、前年同期比49億27百万円(67.6%)増加の122億12百万円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 電子・デバイス

収益はICTソリューション事業や電子機器・電子材料事業などの増収により前年同期比157億6百万円増加の1,345億21百万円、営業活動に係る利益は半導体部品・製造装置事業や電子機器・電子材料事業などの増益により17億15百万円増加の104億27百万円、親会社の所有者に帰属する四半期利益は16億74百万円増加の46億77百万円となりました。

② 食料

収益は食糧事業や畜産事業などの増収により前年同期比308億40百万円増加の1,728億44百万円、営業活動に係る利益は畜産事業や食品事業の増益により19億44百万円増加の47億23百万円、親会社の所有者に帰属する四半期利益は14億9百万円増加の33億40百万円となりました。

③ 鉄鋼・素材・プラント

収益はエネルギー事業や鋼管事業などの増収により前年同期比269億91百万円増加の921億69百万円、営業活動に係る利益はエネルギー事業や鋼管事業などの増益により44億59百万円増加の57億21百万円、親会社の所有者に帰属する四半期利益は18億96百万円増加の33億13百万円となりました。

④ 車両・航空

収益は航空宇宙事業などの増収により前年同期比106億32百万円増加の426億54百万円、営業活動に係る利益は車両・車載部品事業などの減益により2億78百万円減少の6億81百万円、親会社の所有者に帰属する四半期利益は70百万円減少の4億91百万円となりました。

⑤ その他

収益は前年同期比11億53百万円増加の72億69百万円、営業活動に係る利益は23百万円減少の4億90百万円、親会社の所有者に帰属する四半期利益は2億85百万円増加の5億33百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債および資本の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比494億22百万円増加の6,838億78百万円となりました。

有利子負債については、借入金の増加などにより前連結会計年度末比64億91百万円増加の1,499億43百万円となりました。現預金を差し引いたネット有利子負債は、前連結会計年度末比151億26百万円増加の663億68百万円となりました。なお、有利子負債にはリース負債を含めておりません。

資本のうち、親会社の所有者に帰属する持分については、親会社の所有者に帰属する四半期利益の積上げおよび円安に伴うその他の資本の構成要素の増加などにより、前連結会計年度末比157億13百万円増加の1,751億97百万円となりました。

その結果、親会社所有者帰属持分比率は25.6%、ネット有利子負債資本倍率（ネットDER）は0.4倍となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末比91億34百万円減少の822億86百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、営業収入の積上げなどによる収入があった一方で、棚卸資産を中心とした営業資金の増加などにより、17億91百万円の支出（前年同期は101億44百万円の収入）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、子会社の取得などの事業投資の実行により、55億35百万円の支出（前年同期は68億42百万円の支出）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の増加による収入があった一方で、リース負債の返済や配当金の支払いなどにより、32億92百万円の支出（前年同期は63億60百万円の支出）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当連結会計年度の連結業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の実績および今後の見通しを踏まえ、2022年5月10日公表の連結業績予想から以下のとおり修正しました。

2023年3月期通期連結業績予想数値の修正（2022年4月1日～2023年3月31日）

	収益	営業利益	税引前利益	親会社の所有者に帰属する当期利益	基本的1株当たり当期利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	850,000	31,500	32,000	18,000	215.53
今回発表予想 (B)	870,000	37,000	35,500	19,000	227.48
増減額 (B-A)	20,000	5,500	3,500	1,000	-
増減率 (%)	2.4%	17.5%	10.9%	5.6%	-
(ご参考) 前期実績	767,963	29,347	28,765	15,986	191.42

* 将来情報に関するご注意

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度末 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間末 (2022年9月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	91,420	82,286
営業債権及びその他の債権	236,453	248,091
棚卸資産	121,018	148,550
その他の金融資産	12,006	16,178
その他の流動資産	31,190	33,424
流動資産合計	492,090	528,531
非流動資産		
有形固定資産	42,087	48,299
のれん	10,624	13,705
無形資産	24,912	24,797
持分法で会計処理されている投資	15,121	16,575
営業債権及びその他の債権	807	755
その他の投資	35,997	38,337
その他の金融資産	7,101	7,188
繰延税金資産	2,175	2,067
その他の非流動資産	3,537	3,619
非流動資産合計	142,365	155,346
資産合計	634,456	683,878

(単位：百万円)

	前連結会計年度末 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間末 (2022年9月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	214,822	233,974
社債及び借入金	73,707	85,450
リース負債	6,674	8,059
その他の金融負債	7,567	6,376
未払法人所得税	4,893	5,334
引当金	503	455
その他の流動負債	30,290	27,922
流動負債合計	338,459	367,572
非流動負債		
社債及び借入金	69,745	64,493
リース負債	10,158	14,533
その他の金融負債	1,608	2,723
退職給付に係る負債	6,842	6,958
引当金	1,712	1,747
繰延税金負債	5,453	6,232
その他の非流動負債	1,193	1,136
非流動負債合計	96,714	97,825
負債合計	435,173	465,398
資本		
資本金	27,781	27,781
資本剰余金	27,164	26,131
利益剰余金	89,280	98,671
自己株式	△1,305	△1,258
その他の資本の構成要素		
在外営業活動体の換算差額	5,296	11,495
その他の包括利益を通じて 公正価値で測定する金融資産	10,068	10,793
キャッシュ・フロー・ヘッジ	1,198	1,581
その他の資本の構成要素合計	16,563	23,870
親会社の所有者に帰属する持分合計	159,484	175,197
非支配持分	39,798	43,281
資本合計	199,282	218,479
負債及び資本合計	634,456	683,878

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

(要約四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
収益	364,138	449,459
原価	△310,224	△387,357
売上総利益	53,914	62,101
販売費及び一般管理費	△41,358	△45,328
その他の収益・費用		
固定資産除売却損益	△22	△88
固定資産減損損失	△12	—
その他の収益	2,010	5,778
その他の費用	△287	△410
その他の収益・費用合計	1,686	5,278
営業活動に係る利益	14,242	22,052
金融収益		
受取利息	72	117
受取配当金	533	577
その他の金融収益	45	249
金融収益合計	651	945
金融費用		
支払利息	△796	△1,496
その他の金融費用	△1,582	△7
金融費用合計	△2,378	△1,504
持分法による投資損益	1,038	△110
税引前四半期利益	13,554	21,382
法人所得税費用	△4,155	△6,467
四半期利益	9,399	14,915
四半期利益の帰属：		
親会社の所有者	7,285	12,212
非支配持分	2,114	2,703
計	9,399	14,915
親会社の所有者に帰属する1株当たり 四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	87.24	146.21
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	87.12	145.90

(要約四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
四半期利益	9,399	14,915
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	249	875
確定給付制度の再測定	△0	△0
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	13	△13
純損益に振り替えられることのない項目合計	263	861
純損益にその後に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	442	6,394
キャッシュ・フロー・ヘッジ	△502	371
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	216	1,586
純損益にその後に振り替えられる可能性のある項目合計	155	8,353
税引後その他の包括利益	419	9,214
四半期包括利益	9,818	24,130
四半期包括利益の帰属：		
親会社の所有者	7,620	19,621
非支配持分	2,197	4,508
計	9,818	24,130

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
					在外営業活動体の換算差額	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産
2021年4月1日残高	27,781	27,034	78,070	△1,311	1,633	10,163
四半期利益			7,285			
その他の包括利益					560	279
四半期包括利益	—	—	7,285	—	560	279
配当金			△2,505			
非支配持分株主に対する配当金						
自己株式の取得				△1		
自己株式の処分		0		8		
非支配持分株主との資本取引		5				
株式報酬取引		54				
所有者との取引額合計	—	59	△2,505	6	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替			155			△155
2021年9月30日残高	27,781	27,093	83,005	△1,304	2,193	10,287

	親会社の所有者に帰属する持分				非支配持分	資本合計
	その他の資本の構成要素			親会社の所有者に帰属する持分合計		
	キャッシュ・フロー・ヘッジ	確定給付制度の再測定	その他の資本の構成要素計			
2021年4月1日残高	554	—	12,351	143,926	36,566	180,492
四半期利益			—	7,285	2,114	9,399
その他の包括利益	△504	△0	335	335	83	419
四半期包括利益	△504	△0	335	7,620	2,197	9,818
配当金			—	△2,505		△2,505
非支配持分株主に対する配当金			—	—	△1,046	△1,046
自己株式の取得			—	△1		△1
自己株式の処分			—	8		8
非支配持分株主との資本取引			—	5	△16	△10
株式報酬取引			—	54		54
所有者との取引額合計	—	—	—	△2,439	△1,062	△3,501
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替		0	△155	—		—
2021年9月30日残高	50	—	12,531	149,107	37,701	186,809

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
					在外営業活動体の換算差額	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産
2022年4月1日残高	27,781	27,164	89,280	△1,305	5,296	10,068
四半期利益			12,212			
その他の包括利益					6,199	827
四半期包括利益	—	—	12,212	—	6,199	827
配当金			△2,923			
非支配持分株主に対する配当金						
自己株式の取得				△1		
自己株式の処分		△0		47		
非支配持分株主との資本取引		△0				
株式報酬取引		22				
非支配持分に付与された プット・オプション		△1,054				
所有者との取引額合計	—	△1,032	△2,923	46	—	—
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替			101			△101
2022年9月30日残高	27,781	26,131	98,671	△1,258	11,495	10,793

	親会社の所有者に帰属する持分				非支配持分	資本合計
	その他の資本の構成要素			親会社の所有者 に帰属する持分 合計		
	キャッシュ・ フロー・ヘッジ	確定給付制度の 再測定	その他の資本の 構成要素計			
2022年4月1日残高	1,198	—	16,563	159,484	39,798	199,282
四半期利益			—	12,212	2,703	14,915
その他の包括利益	383	△0	7,409	7,409	1,805	9,214
四半期包括利益	383	△0	7,409	19,621	4,508	24,130
配当金			—	△2,923		△2,923
非支配持分株主に対する配当金			—	—	△1,088	△1,088
自己株式の取得			—	△1		△1
自己株式の処分			—	47		47
非支配持分株主との資本取引			—	△0	63	62
株式報酬取引			—	22		22
非支配持分に付与された プット・オプション			—	△1,054		△1,054
所有者との取引額合計	—	—	—	△3,908	△1,025	△4,933
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替		0	△101	—		—
2022年9月30日残高	1,581	—	23,870	175,197	43,281	218,479

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
四半期利益	9,399	14,915
減価償却費及び償却費	6,038	6,678
固定資産減損損失	12	—
金融収益及び金融費用	1,727	558
持分法による投資損益(△は益)	△1,038	110
固定資産除売却損益(△は益)	22	88
法人所得税費用	4,155	6,467
営業債権及びその他の債権の増減(△は増加)	7,107	△3,438
棚卸資産の増減(△は増加)	△8,693	△23,575
営業債務及びその他の債務の増減(△は減少)	△3,310	16,203
退職給付に係る負債の増減(△は減少)	13	82
その他	△2,466	△13,056
小計	12,967	5,034
利息の受取額	86	107
配当金の受取額	980	722
利息の支払額	△786	△1,513
法人所得税の支払額	△3,103	△6,142
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,144	△1,791
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,918	△1,346
有形固定資産の売却による収入	168	731
無形資産の取得による支出	△451	△564
その他の投資の取得による支出	△2,829	△876
その他の投資の売却による収入	1,236	165
子会社の取得による収支(△は支出)	△2,362	△4,616
事業譲受による支出	△591	△63
事業譲渡による収入	—	750
貸付けによる支出	△28	△795
貸付金の回収による収入	190	180
その他	△256	898
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,842	△5,535
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金(3ヵ月以内)の増減	2,776	9,218
短期借入金(3ヵ月超)による収入	500	470
短期借入金(3ヵ月超)の返済による支出	△414	△492
長期借入れによる収入	3,485	3,400
長期借入金の返済による支出	△4,949	△7,660
社債の償還による支出	△107	△7
配当金の支払額	△2,500	△2,917
非支配持分株主への払戻しによる支出	△17	—
非支配持分株主に対する配当金の支払額	△1,046	△1,088
リース負債の返済による支出	△4,084	△4,213
その他	△2	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,360	△3,292
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△3,058	△10,619
現金及び現金同等物の期首残高	81,045	91,420
現金及び現金同等物に係る換算差額	143	1,484
現金及び現金同等物の四半期末残高	78,129	82,286

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

報告セグメントの利益は、親会社の所有者に帰属する四半期利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益および振替高は外部顧客との取引価格に準じて決定しております。

I 前第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日 至2021年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	調整額 (注) 2	連結
	電子・ デバイス	食料	鉄鋼・ 素材・ プラント	車両・航空	計			
収益								
外部顧客からの収益	118,815	142,004	65,178	32,022	358,021	6,116	—	364,138
セグメント間収益	193	0	17	3	214	117	△332	—
収益合計	119,008	142,005	65,196	32,025	358,236	6,234	△332	364,138
営業活動に係る利益 または損失(△)	8,712	2,779	1,262	959	13,714	513	15	14,242
セグメント利益または 損失(△)	3,003	1,931	1,417	561	6,912	248	124	7,285

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流・保険サービス事業およびジオテック事業等を含んでおります。

2. 調整額は、次のとおりであります。

- ・営業活動に係る利益または損失(△)の調整額15百万円には、セグメント間取引消去15百万円が含まれております。
- ・セグメント利益または損失(△)の調整額124百万円には、セグメント間取引消去6百万円、各セグメントに配分していない全社費用117百万円が含まれております。全社費用の主な内容は、当社において発生する実際の法人所得税費用と、社内で設定している計算方法により各セグメントに配分した法人所得税費用との差異等であります。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日 至2022年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	調整額 (注) 2	連結
	電子・ デバイス	食料	鉄鋼・ 素材・ プラント	車両・航空	計			
収益								
外部顧客からの収益	134,521	172,844	92,169	42,654	442,189	7,269	—	449,459
セグメント間収益	220	0	48	0	269	125	△395	—
収益合計	134,741	172,844	92,217	42,655	442,459	7,395	△395	449,459
営業活動に係る利益 または損失(△)	10,427	4,723	5,721	681	21,553	490	8	22,052
セグメント利益または 損失(△)	4,677	3,340	3,313	491	11,822	533	△143	12,212

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流・保険サービス事業およびジオテック事業等を含んでおります。

2. 調整額は、次のとおりであります。

- ・営業活動に係る利益または損失(△)の調整額8百万円には、セグメント間取引消去8百万円が含まれております。
- ・セグメント利益または損失(△)の調整額△143百万円には、セグメント間取引消去0百万円、各セグメントに配分していない全社費用△144百万円が含まれております。全社費用の主な内容は、当社において発生する実際の法人所得税費用と、社内で設定している計算方法により各セグメントに配分した法人所得税費用との差異等であります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。